

南無ちゃんのブログ 2022年7月

目次

| | | |
|-------|----------------------------------|----|
| 7月1日 | 池の土手の草刈り..... | 2 |
| 7月2日 | ピオーネの仕上げ間引き・安芸クイーンの袋掛け..... | 3 |
| 7月3日 | 全然電話が掛けられないぞ～！..... | 5 |
| 7月4日 | シャインマスカットの仕上げ間引き完了..... | 5 |
| 7月5日 | ピオーネを環状剥皮してみた..... | 6 |
| 7月6日 | ピオーネの袋掛けを開始..... | 8 |
| 7月7日 | ピオーネの袋掛け完了..... | 9 |
| 7月8日 | 白瓜の収穫..... | 9 |
| 7月9日 | 第2次九頭竜川遠征初日..... | 10 |
| 7月11日 | ダイワの鮎シューズとモンベルのパドリングパンツの組合せ..... | 12 |
| 7月12日 | 九頭竜川は大増水に泥濁り..... | 12 |
| 7月13日 | 第2次九頭竜川遠征撤収..... | 13 |
| 7月14日 | 果粒軟化しはじめたデラウェアと安芸クイーン..... | 14 |
| 7月15日 | シャインマスカットの防除⑦&袋掛け..... | 15 |
| 7月16日 | 安芸クイーンとデラウェアの夏季剪定..... | 17 |
| 7月17日 | パワーコンディショナーの猛暑対策..... | 18 |
| 7月18日 | 曳舟を購入即塗装..... | 19 |
| 7月19日 | DMの作成..... | 21 |
| 7月20日 | 幻のフラスターマジック..... | 21 |
| 7月21日 | ピオーネの夏季剪定完了..... | 23 |
| 7月22日 | 安芸クイーンに防除⑧ 他..... | 24 |
| 7月23日 | 第3次九頭竜川遠征 初日..... | 25 |
| 7月24日 | 今朝の食卓..... | 25 |
| 7月25日 | 鮎竿のキャップ..... | 26 |
| 7月26日 | 鮎釣りに風は大敵..... | 27 |
| 7月26日 | ゲリラ雨..... | 27 |
| 7月28日 | ナイロン泳がせ釣り..... | 27 |
| 7月29日 | 砂利の足場は危険..... | 28 |
| 7月30日 | 猛暑日は鮎釣りに限る..... | 28 |
| 7月31日 | G杯全国大会..... | 28 |

7月1日 池の土手の草刈り

溜池の補修工事以降、雨は全く降っていませんが、樋をしっかりと閉めていなかったことを思い出したのと、草刈りもしなきゃあということで、朝一番に池の土手の草刈りをしました。今日も30°Cを超える猛暑日になることが予想されたので、草刈りのような肉体労働は朝一でないと無理です。



池に行ってみると、工事をした時よりほんの少しだけ水位が上がっていました。湧水量の方が漏水量よりも多いということです。雨が降らないかなあ・・・と思うのですが、来週の水木あたりに台風4号が接近するので、あまり悪さをしない程度に雨が降って欲しいと願っています。今日の水位よりも1m位水位が上昇したら、池の修理はサクセス！と見てサイフォンに注水したいと思います。



午後一番は、あまりの暑さのために、クーラーの効いた部屋で鮎釣りの仕掛けを作って過ごしました。午後3時頃から、SSを使って家の井戸水を溜めているタンクからブドウ園のタンクに水を移送しました。ついでに、袋掛け前に行う防除⑦の薬液を400リットル調整しました。



7月2日 ピオーネの仕上げ間引き・安芸クイーンの袋掛け

朝一番の仕事は、安芸クイーンの棚に袋掛け前の防除⑦でした。防除後の薬液の雫が乾くまでと思ってピオーネの仕上げ間引きをしていましたが、8時頃になっても全然乾かないので、10時過ぎまでピオーネの仕上げ間引きを続行しました。





昼食は、娘夫婦の家を訪問してお呼ばれました。娘夫婦の家から帰宅して、昼寝をしていたところ目覚めたのは4時半頃でした。丁度涼しくなって仕事に適した時間帯なので、ブドウ園に行って安芸クイーンの袋掛けをしました。袋掛けが終わると、ブドウの仕込みが終わったなあ・・・と実感できます。



これから台風4号の影響もあってか、あるいは戻り梅雨なのか、雨がちな天気が続く予報なので、いっごろ全体の袋掛けが終わるかわかりませんが、そろそろ終盤に近付いていることは確かです。

7月3日 全然電話が掛けられないぞ～！

1年程前からDocomoからUQmobileに乗り換えました。これまで特に問題はありませんでした。今回のau通信障害事件では丸一日以上経過した現時点でも全く電話を掛ける(発信)することができません。勿論着信もできません。ネットのニュースでは西日本は半日ほど前から、東日本でも既に復旧作業は完了したと報じられています。しかし・・・私のスマホではデータ通信(ブラウザでインターネットの見る)はできますが、電話機能は使えません。

再起動してみましたが、やはりデータは使えても電話は使えません。一体いつになったら電話が使えるようになるのでしょうか？auはOKだけどUQmobileはダメということなのでしょうか？

KDDIの説明ではVoLTEの輻輳が原因とのことですが、未明の時間帯に電話の輻輳が起きるなんて信じられません。誰がそんな時間帯に電話を掛けたというのでしょうか？それともサイバー攻撃でも受けたというのでしょうか？

私の契約は「かけ放題」プランですが、一日以上通話できません。これは一月の3%以上に相当するので、その分は金返せ！と言いたいです。電波行政を司っている総務省には、きつーく叱って欲しいと思います。

■ (7月3日 19時00分現在) au携帯電話サービスがご利用しづらい状況について

日頃はKDDIサービスをご利用いただきましてありがとうございます。
以下のとおり、昨日01時35分より当社の通信サービスがご利用しづらい状況が発生しております。
現在、復旧作業に努めております。
お客さまには多大なご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

全国的にデータ通信を中心として徐々に回復してきています。
西日本エリアは11:00ごろ、東日本エリアは17:30ごろに復旧作業終了しました。
復旧作業終了後も、ネットワーク試験の検証中につき、
流量制御などの対処を講じているため、ご利用しづらい状況が継続しております。
本格再開時間は別途決定次第、ご案内いたします。

7月4日 シャインマスカットの仕上げ間引き完了

昨日からシャインマスカットの仕上げ間引きを始めていました。今日はぐずついた天気でしたが、朝と夕にブドウ園に行ってシャインマスカットの仕上げ間引きをしたところ、完了しました。未だ粒が小さいので袋掛け前にもう一度チェックする必要があるかもしれません。袋掛けをしまえば手が出せないで、安心して遊びに行くことができます。

シャインマスカットの前にピオーネの袋掛けをしたいのですが、ぐずついた天気が続く予報のため、袋掛け直前の防除ができないので困りものです。

ブドウ園の脇で育てているトウモロコシと白瓜を収穫してみました。トウモロコシは、あと1週間もすれば美味しく頂けそうです。白瓜は浅漬けにさせていただきましたがグーでした。



7月5日 ピオーネを環状剥皮してみた

最近では地球温暖化の影響なのか、標高 430m の我がブドウ園でさえピオーネの着色不良に悩まされています。つまり、収穫期になってもブドウの粒の色が黒くならず、赤いままなのです。赤ならまだしも、中には白いピオーネさえあるのです。着色不良なのは遅伸びする樹なので、今年は遅伸び対策としてフラスター液剤を散布してみました。今の処効いたのか効かなかったのかは不明です。

ピオーネの着色を良くする方法として、「環状剥皮」という方法があることは5年程前から知っていました。一昨年、環状剥皮するために道具を購入していましたが、これまで環状剥皮をやったことはありません。



今年はフラスター液剤を散布しているものの、あまり着色が悪いようなら、いっそ伐ってしまおうかと思ったりもしましたが、ついつい惰性に流されて粒間引きまで来てしまい、後は袋掛けを待つばかりです。伐るくらいなら、その前に「環状剥皮」という荒療治を是非一度試してみたいと思い、本日、施術を敢行しました。

使用した道具は、写真の「環状剥皮ナイフ」とマイナスドライバーだけです。環状剥皮ナイフで薄皮から深さ約1mmの傷をつけると、樹脂が噴き出てきます。人間に例えるなら、リストカットをして血が出てくる感じです。嗚呼ブドウの樹が可哀そう！



とは言え、やると決めたのですから一気にやっちゃいました。写真のピオーネの樹は、定植してから10年になり、直径は10cmを超えています。試しとは言え、3本の樹に「環状剥皮」を施術しました。

表面の薄皮を剥皮した後、ビニールテープを傷口全体に巻きました。ビニールテープは約1ヶ月後に除去する予定です。

7月6日 ピオーネの袋掛けを開始

朝一番にピオーネの棚の一部に防除⑦の農薬をSSで散布しました。薬が乾くまでの時間に、安芸クイーンの下に白いシートを敷き詰めました。このシートを設置する目的は、安芸クイーンの色着きをよくするためです。たったそれだけのために、こんなことまでしないとイケないなんて・・・手間のかかる品種です。昨日ピオーネの一部の樹に施した「環状剥皮」が上手くいけば、来年は安芸クイーンにもやってみようと思います。



9時半頃からピオーネの袋掛けを開始しました。明後日は雨が降る予報なので、それまでに終わりたいところです。



7月7日 ピオーネの袋掛け完了

今朝は5時半に起床し、朝飯前に、袋掛け予定のピオーネの棚に防除⑦をしました。朝食後、昨日袋掛けをやり残した別のブドウ棚の袋掛けをして、9時過ぎから今日防除したピオーネの棚の袋掛けをしました。今日も暑い一日でしたが、妻の協力のお陰で昨日と今日の二日でピオーネ約3000房の袋掛け作業を完了することができました。ちなみに、去年は途中で雨が降ったこともあって4日もかかったのです。



袋掛けが残っているのはシャインマスカット(約1000房)のみですが、こちらは来週作業予定です。なので、明日の夕方出発して、暫く九頭竜川に涼みに行ってこようと思います。

7月8日 白瓜の収穫

暫くの間、留守にする予定なので、食べられるサイズに成長した白瓜を全部収穫しました。妻が奈良漬けにしてくれるようです。

今夕、九頭竜川に向けて出発の予定なので、午前中は買い出しに行ったり、荷物の整理、積み込みなどをしました。アマチュア無線は当分お休みなので、落雷の影響を最小にするために、アンテナケーブルとACコードを全部抜いておきました。ついでに、ローテーターのケーブルを全部外しました。多分、大丈夫でしょう！



7月9日 第2次九頭竜川遠征初日

昨夜時頃家をに朝食出発して、途中で2回程仮眠をとって、永平寺町には午前3時頃に到着しました。未だ暗かったので、谷口の駐車場で5時頃まで寝ました。5時過ぎに飯島に行くといつものメンバーが勢ぞろいしていました。



皆と一緒に朝食を摂った後、8時過ぎに五松橋下流に行きました。今朝の九頭竜川は超減水で、解禁日の時よりも更に10cm位水が少なかったため、全く釣れる気がしませんでした。でも、これは裏目だったと後で聞いて知りました。五松橋下流では11時過ぎまでやって、やっと5尾の釣果でした。11時頃に釣れるポイントを見つけたのですが、皆の弁当を購入する役目を仰せつかってい

たので、11時過ぎにやむなく川から上がりました。



昼食後、昨夜の睡眠不足がたたって眠かったので2時過ぎまで昼寝しました。午後2時過ぎから、飯島の3番瀬に入川しましたが、その直後から強烈な雨が降り出しました。良い型の鮎が2尾釣れましたが、雷は鳴るし全く雨が上がる気配はないので、仕方なく川から上がりました。オトリ小屋で様子を見ていて、4時過ぎには小降りになったので、頭首工の上流に入りました。5時過ぎまで粘りましたが、増水するし濁りはでるわという状態でした。

ブログを書いている今現在、かなり増水していて、濁りもきつくなっています。明日、鮎釣りができるかどうか微妙な状態です。



7月11日 ダイワの鮎シューズとモンベルのパドリングパンツの組合せ

前回九頭竜川の解禁時に今年初めての鮎釣りをしましたが、長年使っていた鮎タビの靴底が摩耗していてそろそろ買い時だと感じたので、早速ネットショップで注文しました。今回の遠征で、ダイワの2022年モデルの鮎シューズを使用しました。

私は3年程前から、鮎タイツの代わりに、モンベルのパドリングパンツを使っていましたが、釣り歩いているうちに砂が靴に入るのが難点でした。今年買ったダイワの鮎シューズには、砂利ガードというのか、砂が中に入るのを防止するカバーが付いていました。



この組み合わせで鮎釣りを2日して、「こりゃあ良いわあ」と感じました。モンベルのパドリングジョンというパンツは、鮎タイツと違ってオーバーオールになっているので、押しが強い処に入っても水流の影響を受けることがなく、かつ1万円を切った価格なのでコスパ最高です。これに砂が入らないような工夫がされた鮎シューズとの組み合わせはべ

7月12日 九頭竜川は大増水に泥濁り

未明の1時~3時頃に降った雨で九頭竜川は大増水しました。飯島の水位で+1m位だと思われれます。オマケに泥濁りなので、今日の鮎釣りは無理です。

夜が明けた頃には雨は上がり、昼前には陽が射して暑いなのなんの・・・九頭竜川に涼みに来たのに、泥濁りの川に入るわけにいかず困ったものです。こんな時は、オーニングの下で仕掛けづくりです。今シーズン初めての仕掛けづくりに励みました。



7月13日 第2次九頭竜川遠征撤収

昨日は大増水のため、曳き船やオトリ缶が夕方になっても回収できませんでしたが、今朝は水位が下がっていたので、やっと回収できました。中の鮎は約半数が死んでいました。



7月14日 果粒軟化しはじめたデラウェアと安芸クイーン

5日間程遊んできたので、今朝は早速ブドウ園の様子を見に行きました。デラウェアは色付き始めていて果粒軟化していました。安芸クイーンは色付きは未だのようですが、果粒軟化が始まっているようです。ピオーネも確かめてみましたが、まだ果粒は硬いままでした。果粒軟化が始まったデラウェアと安芸クイーンは、夏季剪定をすることができます。ピオーネも4～5日もすれば果粒軟化が始まるでしょう。





明日は、シャインマスカットの袋掛けを予定しているので、最終チェックをして歩きました。シャインマスカットの袋掛けをして、デラウェアと安芸クイーンおよびピオーネの夏季剪定が終われば、また鮎釣りに出かけたいと思っています。

7月15日 シャインマスカットの防除⑦ & 袋掛け

6時半頃からシャインマスカットの防除作業を行いました。薬液はSSに作り置きしていて、SSで散布するだけなので、30分程で終わりました。薬液が乾くまで、草刈りをしました。はじめ刈り払い機で法面の草刈りをし、後でF1 MASAOを使ってブドウ棚の下を草刈りしました。



刈り払い機で草刈をした後、家に帰る途中、ブッポウソウの羽根を1本だけ拾いました。全体的

に黒い羽根なのですが、光の当たり方で、青く輝きます。何とも不思議な感じです。ブドウ園の隣地にブッポウソウの巣箱があるので、この辺りをよく飛んでいます。何故羽根が落ちていたのかは不明です。動物にでも襲われたのでしょうか？



午前中は天気が良かったので、10時頃からシャインマスカットの袋掛けを開始しました。午後からも袋掛けを引き続き行いましたが、2時頃から猛烈な雨が降りました。1時間程の間に30mm位降ったようです。その間もブドウ棚の下で袋掛けをずっとやっていた。ブドウ棚のビニールの下だと雨に濡れないのですが、下手に車のところまで行こうとすると、それだけでずぶ濡れになりそうな勢いでした。



6時頃までには、なんとか袋掛けの作業を完了しました。

7月16日 安芸クイーンとデラウェアの夏季剪定

昨日、安芸クイーンとデラウェアが果粒軟化していることを確認できたので、今日は早速、夏季剪定を行いました。枝や副梢が無駄に長くてもブドウの果実を甘くすることには貢献せず、むしろ貢献度の高い房近傍の葉を陰ににしてしまって逆効果なので、これらを切除します。夏季剪定すると残った葉達はお日様を十分に浴びることができるようになって嬉しそうです。



7月17日 パワーコンディショナーの猛暑対策

太陽光発電所を開設してから今年で10年になります。昨年1基、一昨年1基のパワーコンディショナーが壊れてしまい、修理してもらいました。修理と言っても、再生品との交換です。10kWのパワーコンディショナーが合計2基で20kWの太陽光発電所なので、両方とも一度は故障したということです。新品とは違って再生品なので、今度いつ故障するのかヒヤヒヤものです。今度故障したら、新品との交換かなあ・・・？

一昨年に修理したときは20万円弱だったのに、昨年修理した時は10万円程余分に掛かりました。10kWパワーコンディショナーだと新品を買っても50～60万円位だと思うのに、再生品と交換するのに30万円というのは厳しいです。

固定価格買取制度の契約期間は、全量買い取りなので、あと10年あります。再生品で10年を乗り切るのは無理だと思うので、交換用の機械を予め手配しておいたほうが良いかもしれません。壊れてからでは価格交渉する余裕がないかもしれないからです。

それはさておき、現在使用中のパワーコンディショナーを少しでも延命させることが当面の課題です。過去2回の故障は両方とも7月・8月の真夏の炎天下で発生しているので、なにがしかの猛暑対策をしておきたいと考えていたところ、先日ホームセンターでクーラー用の断熱ボードなるものを見つけたので、2セット分購入しました。

これから暑くなるので、その前に取り付けて対策しました。ダメ元ですが、少しは延命に寄与することを期待しています。



7月18日 曳舟を購入即塗装

先週九頭竜川に行った時、道〇さんの曳舟と大型魚籠(胴丸)が濁流に流されてしまいました。私の曳舟は大丈夫だったのですが、「曳舟をかうとしたらこんなのが良い・・・」という談議になり、SHIMANOのADVANCE POWERが良いという話になりました。私の持っている曳舟もどれも今一だったので、その話に乗って、帰宅すると直ぐにネットで注文しました。価格は税込みで1万円弱で、翌日には配達されました。

ADVANCE POWERの最大の特徴は、「大型の鮎でも入れやすい」という点です。実際に購入して手にしてみると、鮎を入れる口の処に窪みがあって、すんなり入りそうです。SHIMANOはこれを「スロットINシステム」と称しているようです。私が従来使っていたADVANCE POWER IIと比較すると、口の部分の若干大きくなっていました。

購入した製品の色はホワイトでしたが、面白味がないので、他の曳舟を塗装するために購入していたイエローのスプレーでペイントしました。ペイントする前に、マスキングテープを貼って、#400のサンドペーパーで下地を荒らしました。



ペイントした後は、コンパウンドで磨きました。素人が適当にやっているのので、車の塗装ほどピカピカにはなっていません。ちなみに、この色は Soft99 で注文した SUZUKI のチャンピオンイエローです。



現在保有している曳舟を並べてみました。右端が今回購入して塗装したおニュー。青いのが7～8年間使用している SHIMANO の ADVANCE POWER II ですが、口の部分にヒビが入っていて口の締まりもよくありません。赤いのは知人から貰った GAMAKATSU 製です。これは急瀬で使っても抵抗が小さくて良いのですが、ハンドルがなくて薄いので、鮎を出す時に苦労します。ハンドルを付けてみましたが、余計に鮎を出す時に苦労するようになってしまいました。他の細工をすれば使えるかもしれませんが、現状では今一です。左端のデカイ曳舟は、静岡県藤枝市の鈴木さん作の九頭竜川用の曳舟です。これのメリットは、浮きになるという点です。これを抱いて泳げば楽ちんですが、持って歩き回るのは苦痛です。現在、塗装修理のためドッグ入りしています。(イエローのスプレーは、この曳舟のために購入していたものです。)

7月19日 DMの作成

未明から雨風共に強く、大雨警報が出されていました。そういう状況なので、野良仕事は諦めてデスクワークをしました。7月下旬には、ブドウ予約販売のダイレクトメールを発送したいと思い、ちょびちょびと準備していましたが、今日は雨のためじっくりと腰を落ち着けて作業することができたので、明日には郵便局に持ち込めそうです。



7月20日 幻のフラスターマジック

6月24日にフラスター液剤(1000倍)を遅伸びするピオーネとシャインマスカットに散布しました。フラスター液剤は、植物成長ホルモン剤で、「新梢成長を抑制し、品質を安定させます」と効能書きに書いてあるので、期待を込めて見守ってきましたが、今の処従来通りの成長で、期待した効果はでていません。フラスターマジックは幻だったようです。

私は、V字整枝しているということと、SSが通り易くするために、SSが通る列は副梢をビニールの上に伸ばしています。上の写真からわかるように、SSが通る列(中央+両端の合計3列)は副梢が防鳥ネットを突き抜けて上に勢いよく伸びています。一方、SSが通らない列は、積極的には上に伸ばしていないので、地面に向かって伸びていて、多くの新梢が地面を這う程に成長しています。

早く、夏季剪定を行わないと、房の周りの肝心の葉っぱにお日様が当たらず、光合成による糖の生成が阻害されて、糖度があがらないということになりかねません。

今は、夏季剪定(切り戻し)の作業中ですが、新梢が長すぎると、防鳥ネットに引っかかって大変なのです。それに、栄養を浪費しているようで勿体ないので、お高い薬(100mlで5000円強)だっ

たのですが、試してみました。散布したのが、満開後約 20 日だったが良くなかったのか、SS ではなくて動力噴霧器を使って散布したのが良くなかったのかわかりませんが、とにかく、まったく新梢の成長は抑制されていないと感じています。

今年、今時期の最低気温が比較的 low 20°C 以下の日が続いているので、遅伸びするピオーネの樹でも着色が良好になるかもしれません。・・・楽観的観測です。



7月21日 ピオーネの夏季剪定完了

7月17日から始めたピオーネの夏季剪定が終わりました。昨日のブログに掲載した Before の写真と比較すると分かると思いますが、散髪してさっぱりした！って感じです。



7月19日に降った雨で、我が家の溜池の水位がどのように変化したのか見に行ってみました。近所のアメダスのデータだと80mm位の降水量が記録されています。7月17日と比べると、水位が約2m程アップしていました。漏水の量は、7月17日の時よりも多くなっていました。地中には沢山の水が含まれていると思いますが、この水位をいつまで維持できるかが問題です。



7月22日 安芸クイーンに防除⑧ 他

アビオンE(1000倍)、ムッシュボルドーDF(500倍)、コロマイト水和剤(2000倍)の薬液を100リットルだけ調整して、動力噴霧器を使って、安芸クイーンにだけ散布しました。安芸クイーンは他の品種よりも若干成長が早いこともあってか、毎年のようにサビ病に悩まされています。例年は他のブドウと同じタイミングで8月上旬に防除作業をするのですが、今年は安芸クイーンだけ早めてみました。



シャインマスカットの樹が4本あるのですが、防除の後、頑張って夏季剪定をしました。妻も手伝ってくれたので、4時前には終わりました。

以上の2件の農作業を終えたので、安心して鮎釣りに行くことができます。今夕、出発予定です。

その前に、キャンピングカー(ハイエース)でのモバイルバッテリーの安定した設置場所を確保するために、手持ちの材料で台を即席で作りました。見栄えはしませんが、実用に耐えるかどうか試してみます。運転中に急ブレーキをかけた時、前に転がるのが心配だったので、ショックコード(ゴム紐)で固定しています。



7月23日 第3次九頭竜川遠征 初日

またまた九頭竜川にやってきました。深夜にドライブしましたが、金曜日の夜だというのに、SA/PAはそれほど混んでいませんでした。コロナのせいなのでしょうかね？私が20代の頃には、今頃に季節には、職場の仲間と一緒に海水浴などに出かけたことを思い出しました。

天気はイマイチで、午前中は雨が降っていました。川の水位は約50cm高く、少し濁りがあります。午前中は仕掛けを作ったりして過ごしましたが、昼から少し晴れ間がでてきたので、吉波に行きました。土曜日なのに、釣り人はチラホラで、釣果も1桁でした。

土用だというのに少し肌寒く感じたので、早めに上がって、永平寺温泉に浸かって、道〇さんにうな井をご馳走してもらいました。



7月24日 今朝の食卓

今日は良い天気で、概ね晴れでした。やっと夏らしくなり、避暑としての鮎釣り日和でした。明日も同じように晴れの予報です。昨日よりは釣り人は多かつ回sたのですが、例年に比べると少ないように感じます。

今日でキャンプ2日目ですが、5時頃から目が覚めて、何もすることがないので手分けして朝食の準備をしました。いい加減な食事をしているんじゃないかとか心配の向きもあろうかと思しますので、今朝のメニューと写真に撮ったので紹介します。

ご飯、みそ汁、出汁巻き卵、ベーコンの炒めもの、トマトとキュウリ、白瓜の浅漬け、キュウリのからし漬け、キュウリのマヨネーズ和え・・・とこんなもんです。



7月25日 鮎竿のキャップ

天気晴れ、水位は平水よりも約10cm高、濁りなし。月曜日なので、釣り人は少なめ。そこそこ釣れたので満足です。

鮎竿のキャップを落としてしまい、一生懸命探したところやっと見つけることができました。竿袋から竿を取り出した時に、抜けたようです。キャップを部品単体として注文すると、1万円以上します。部品の注文にはディスカウントが通用しないので、かなりお高いのです。

今回キャップを落とした竿は3年前に購入したのですが、それ以外の竿のキャップはどれもどこかに落として、コルクの栓で代用しています。今回の竿にも、スーパーリングワインのコルク栓で代用品を作りました。直径の差異は、ビニールテープを巻いて調整しました。見た目は正規の栓よりも貧相ですが、全周がビニールテープなので、摩擦力が高く、抜けにくくなりました。何よりも、材料代はほぼロハなので、落とたとしても血相を変えて探す必要などないのです。

鮎竿の元栓は、ネジが切ってあるので、代用品で済ますことは困難ですが、キャップは代用品で事足ります。



7月26日 鮎釣りに風は大敵

午前中は風もなく、穏やかな天気だったので、釣果えはは別として機嫌よく釣りができました。しかし、午後からは風がでてきて、5m/s以上の風が吹いて、とても9mの鮎竿を持って釣りができる状態ではありませんでした。仕方なく川から上がって、昼寝でもしようかと思いましたが、晴天でもあり車内の温度が高すぎて快適とは言い難いので、短い竿でチャレンジすることにしました。8.1mのフナヤの竿を出してみましたが、これでも未だ風の影響を受けるので、がまかつの7.2mの支流用の竿を出してみたところ、これならまあ行けそうでした。

短い竿を持って一番瀬の左岸に入りました。風のせいで貸し切り状態です。この竿は胴調子というのか柔らかいので、大きな鮎が掛かると引き抜きに手間がかかり、結局ばらしてしまい、小さな鮎なら引き抜くことができました。ちょっと物足りない感じですが、風が強くても一応鮎釣りはできました。こういう時のために、短くて硬い竿が1本欲しいものです。

7月26日 ゲリラ雨

天気予報では正午前後に小雨が降るということでしたが、午後3時頃までは晴れていて風もなく鮎釣り日和でした。午後4時頃から雷が鳴り始めたので、4時半には釣りを止めて川から上がりました。その直後に土砂降りの雨になりました。川の水位は徐々に上がり、濁りもでてきました。京都府の一部の地域では時間雨量が90mmを越えたところもあるのです。近くの勝山のアメダスのデータを見ると、2時間で5mm位の降水があったようです。

7月28日 ナイロン泳がせ釣り

今朝目覚めると、昨夕の増水と濁りが嘘のように解消されて、昨日と同じレベルに戻っていました。今日の天気は晴れで風弱く鮎釣り日和でした。

午前中は瀬で釣りをしましたが、流れが急だと足場が悪くて、鮎が掛かっても身切れや取込ミスでバラしてしまうことが多々あります。結局オトリが弱って、釣果が上がらないということもしばしばです。

それに比べて、トロ場の泳がせ釣りというのは、リスクが小さくて安全な釣りと言えます。トロ場の泳がせにはナイロン糸が良いという話は昔から聞いていましたが、実際にナイロンを使ったことがなかったんで、試してみました。今更ジロー・・・という感がありますが、細い金属糸などから始めたので、0.2号などのナイロンの細い糸を使うのは初めてでした。

トロ場で泳がせていると、掛かればビューーと目印が動いてビジュアル的に鮎釣りを楽しむことができます。取り込みは、引き抜きもできますが寄せてゲットするという方法もあります。何故ナイロンが良いのかはよく知りませんが、結構、良い調子で鮎が掛かり、取込も問題なくできたので、なかなかいいもんなのかもしれません。しかし、取り込みの際につまみ糸を持れば良いのに、誤って水中糸に手が触れて親子どんぶりになってしまいました。良いことばかりでは無さそうです。

7月29日 砂利の足場は危険

今朝は吉波に行きました。最初チャラ瀬でやっていましたが、掛かる鮎が小さくてきつい流れではオトリとして力不足なので、下のトロ場でも指そうと思ってやっていたところ、砂利が積みあがったところを歩いていたところ、ずるっと滑って流されてしまいました。幸いトロ場だったので事無きを得ましたが、想定外のハプニなるべくた。砂利が積みあがったところはなるべく歩かないようにしたいと思います。

7月30日 猛暑日は鮎釣りに限る

ここ永平寺町でも猛暑日が続いています。こういう暑い日は鮎釣りに限ります。九頭竜川の水は水温約20℃と冷たくて、清涼感満点です。明日も明後日も晴れで猛暑日の天気予報です。

土曜日とあって釣り客も多かったのですが、水に浸かっているだけでも快適なアウトドアライフです。



7月31日 G杯全国大会

7月31日から8月2日までの3日間、ここ九頭竜川で gamakatsu 杯全国大会が開催されます。試合は8月1日と2日の2日間ですが、地区大会を勝ち上がった強者共が7月31日は下見のために谷口、飯島、北島の3か所の下見にやってきています。おまけに日曜日とあって、一般のサラリーマン釣り客が多数いるので、へたっぴの私の立つ瀬はありません。

午前中は強風用の竿を作りました。フナヤの8.1mを2本抜いて、それに約1mのハカマをつけて約6mになりました。竿は硬いので瀬で掛かっても平気の筈です。実釣試験をするために飯島の頭首工の窪みを狙って穴釣りを試みました。短くて硬いので、鮎をピンポイントで誘導することができます。1時間程で5尾とまざまずの釣果でした。中には22cmの大物もいたので、穴釣りなんて・・・とあなどれません。

